

GIII vol.146 熊本市現代美術館開館 20 周年記念「Our Attitudes」

開催報告



GIII vol. 146 熊本市現代美術館開館 20 周年記念 Our Attitudes

会期 2022 年 8 月 28 (日) -10 月 30 日 (日)

会場 ギャラリーⅢ+井手宣通記念ギャラリー

出品作家 坂本夏子、園田昂史、武田竜真、松永健志

開館 20 周年記念企画として、1980 年代生まれの熊本出身作家 4 名の作品を取り上げ、この 20 年のうちに熊本から芽吹いた新たな表現を紹介した。本展のタイトルは、熊本市現代美術館の開館記念展である「ATTITUDE 2002」を参照したもの。現代美術館のオープン時にはまだ学生であった作家たちは「ATTITUDE 2002」をはじめとする当館の展覧会をどのように見ていたのかを振り返り、さらに現在どのような自らの「Attitude」を持ちながら活動に取り組んでいるのかを提示することを目指した。

展覧会では各作家の現在の関心を示す近作・新作を中心に計 40 点を紹介。自身の身の周りの事物を明快な色彩と構図で描いた具象画から、絵画の方法論的探求、特定地域の歴史や文化を掘り下げた複合的な映像作品まで、それぞれの異なる方向性とアプローチがよく表れた会場となった。

また作品展示のほか、会期中には作家インタビューやトーク等の関連プログラムをとおして、若い世代と当館の間に発生してきた関係を検証し、今後の美術館のあり方についても可能性を探ることを意図した。インタビューは作家ごとに各 3-4 分の動画に編集し、展覧会会場で上映するのとあわせて、美術館の YouTube チャンネルに公開。展覧会開幕初日には、出展作家たちが学生時代の記憶から現在の活動までを語るオープニングトークを開催した。会期後半には、本展関係者に加えて大川市立清力美術館の弥永隆広館長をゲストに迎え、地域における美術館の果たしうる役割についてのトークイベントをおこなった。会期終盤には、出展作家のひとりである坂本夏子による制作ワークショップを実施。あわせて、坂本は母校である熊本県立第二高等学校を訪問し、美術科の現役学生たちと直接交流する機会をもった。

この「Our Attitudes」展は、作家の宮本華子が熊本市現代美術館に対して「開館 20 周年企画として、80 年代生まれの熊本出身作家のグループ展をできないか」という提案をおこなったところから企画検討がスタートし、宮本と当館学芸員の佐々木玄太郎が協議しながら企画内容を具体化していった。本展の会期中には、上記の当館主催のプログラムのほかにも、宮本が荒尾市で運営するマイクロレジデンス施設 AIR motomoto での武田竜真個展「Container」、大川市立清力美術館での「園田昂史・武田竜真 2 人展」など、宮本の企画による関連展示が同時展開された。

編集：佐々木玄太郎

展示風景



松永健志



坂本夏子



園田昂史



武田竜真

